



# 柏原中だより

令和3年 1月号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 251名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

## 再度の緊急事態宣言

校長 井堀広幸

祈合格！  
がんばれ  
3年生！



名産のタコがモチーフ！  
南三陸オクトパス君  
“置くと”（試験に）“パス”！

保護者、地域の皆様、新年おめでとうございます。昨年はコロナ感染防止の対応一色の中で、できる限りの教育活動に取り組んでまいりました。今年は、コロナ禍が終息し、いろいろな教育活動に、生徒が思い切り取り組める1年であってほしいと願っています。

しかしながら、年明けの1月7日に、政府から関東1都3県に緊急事態宣言が発令されました。それによると、小中学校などの学校は、一斉休校をせず、入試なども予定どおり実施するとの内容でした。現在のところ、いわゆる第3波の感染者数の急増は、とどまる気配がありません。そのため、狭山市教育委員会では、県立学校と同様に、部活動は緊急事態宣言が解除予定の2月7日まで、原則中止としました。また、本校の1学年で1月に予定していた校外学習は、3月に延期しました。さらに、チャレンジスクール（柏中寺子屋）も、2月7日までの4回を中止としました。緊急事態宣言や現在の感染状況を重く受け止め、さらに、感染防止を徹底していけるよう努めてまいります。今後とも、引き続きご協力をお願いいたします。

## 第1学年、第2学年保護者会並びにミニ音楽会 <12月15日(火)・16(水)>

今年度は、授業時間数を確保するため、1、2学年の三者面談を取りやめ、授業参観並びに保護者会という形をとらせていただきました。12月15日(火)に2学年、12月16日(水)に1学年の保護者会を実施しました。今年度は校内音楽会が開催できなかったため、この保護者会で、ミニ音楽会と称して、保護者の皆様に合唱を披露する機会を設けました。程よい緊張感の中、マスクをつけての歌声でしたが、発表できたことは生徒たちの自信になりました。また、2年生は授業参観で、10月に実施した宿泊学習の成果発表会を行いました。1、2年生ともに寒い中、大勢の保護者の方々に足をお運びいただき、誠にありがとうございました。



2年:ミニ音楽会



2年:宿泊学習の成果発表会



1年:ミニ音楽会

## “柏原中学校” 話題満載！ ～ショート・コラム～

### 1年生 非行防止教室を実施 <12月18日(金)>

5校時に、1年生を対象に体育館で非行防止教室を開きました。狭山警察署生活安全課少年係の〇〇〇〇係長様に講師としておいでいただき、ご指導いただきました。悪い行為や危険な行為をした人がその後どうなるのか等、詳しくお話いただきました。



### 3年生 家庭科の制作作品を柏原保育所に寄贈 <12月18日(金)>

3年生の家庭科で、保育の分野の学習で「幼児のおもちゃ作り」があります。例年、作ったおもちゃを持って柏原保育所で保育実習をやらせていただくのですが、今年度は、実習は中止で、おもちゃだけを保育所に寄贈しました。各学級のどのグループも、時間がない中で一生懸命仕上げました。  
(写真:保育所行の西武電車を制作したグループ ⇒)



## チャレンジ・スクール 冬期講習を開催(3日間) <1月4日(月)~6日(水)>

年明けの1月4日(月)から3日間、さやまっ子チャレンジ・スクールの冬期講習を実施しました。今回の参加人数はこれまでの過去最多で、1年生が17名、2年生が20名、3年生が10名で計47名が参加申込し、3日間で、のべ109名が国、数、英3教科の講習を受けました。以下、生徒の感想の抜粋です。「……問題の内容自体はすごく良かったの1日間では足りない気がしました。」(1年生)、「とても分かりやすい授業でした。」(2年生)、「とっても楽しくできました! 基本を復習できて、充実した3日間になりました。」(3年生)



## 第2学期終業式、第3学期始業式の実施<12月24日(木)、1月8日(金)>

長かった2学期の終業式、14日間の冬休みを挟み、3学期の始業式を実施しました。終業式では、学年代表として1-10000くん、2-10000さん、3-30000くんが、2学期の成果と反省を述べてくれました。始業式では、1-10000さん、2-10000さん、3-20000さんが、3学期、あるいは、来年度の抱負を語ってくれました。



## 各学年 第2学期まとめ集会の実施 <12月23日(水)>

12月23日(水)に、学年ごとに、まとめ集会が開かれました。どの学年も、学校行事や学年の活動、また学年で実施したキャンペーンやコンクールなどで、学校全体あるいは学年に貢献した個人や学級の表彰を行いました。った2学期を振り返ることができたのではないかと思います。

(写真:3年生の集会での表彰式場面 =>)



**消毒用アルコールの寄贈** <12月9日(水)> 7月に続いて、小島化学薬品株式会社様(在柏原)から、消毒用アルコールを15L寄贈していただきました。誠にありがとうございました。

## おめでとう! 柏原中生、活躍しています! (敬称略)

### 令和2年度 狭山市学年別ソフトテニス大会 12月20日(日)

2年生 男子の部 第3位 ○○ ○○ ・ ○○ ○○ 組  
1年生 女子の部 第3位 ○○ ○○ ・ ○○ ○○ 組

### 第2回 なりたい大人作文コンクール 12月14日(月) (全国 22,748 作品中の BEST4)

審査員特別賞 2年 ○○ ○○ 題名:『仮の孤独』

※ 以下に、作品と審査員評を掲載します。

《第2回 なりたい大人作文コンクールの作品を掲載します》(敬称略)

審査員特別賞 『仮の孤独』 埼玉県 狭山市立柏原中学校 2年 ○○ ○○

僕は変な話、鯨に憧れている。52ヘルツという鯨にしては高い声で鳴く突然変異の鯨だ。彼が鳴いても他の鯨は無反応である。彼、彼等はきっと悲しい思いを何百倍もしてきたことだろう。でも、その52ヘルツで鳴く鯨が複数で共鳴すれば、きっと何百倍も心地よいだろう。今まで自分だけが孤独と思って過ごしてきた鯨の孤独ではない世界的一面を見られた気分になる。そうして仮の孤独の中を脱け出し、少しずつでも努力出来る人になりたい。

《特別審査員の評価コメント》を掲載します

52ヘルツの鯨に目をつけた着眼点や、「仮の孤独」というタイトルにセンスを感じました。世界で最も孤独な鯨を題材に、そもそも孤独とは何かという考察もよかったです。どんなに孤独だと思っていても、誰かとわかり合えた瞬間、それはあっさり消えてしまうのですよね。孤独な世界だけではなく、孤独が解消された世界にも想像を及ぼしている点もよかったです。

いい作文なので、一つだけ余計な感想を。「努力出来る人になりたい」という最後の一文は、少し平凡すぎるかもしれませんが。美しい結論を考えるのは大変なので、プロがよくやるごまかしを紹介しておきます。「抜け出した後に、鯨は再び孤独を懐かしむのだろうか」みたいに曖昧な疑問形にして読者を煙に巻く、「抜け出した後、その航跡を誰かに見つけてもらいたい」という風に海に関する比喩で逃げる、などのパターンがあります。